

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	DPL伊勢原新築工事	階数	地上5F
建設地	伊勢原市下粕屋字田島崎1456番外	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	500人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年5月 予定	評価の実施日	2019年9月30日
敷地面積	29,714 m ²	作成者	(株)フジター級建築士事務所
建築面積	15,642 m ²	確認日	2019年9月30日
延床面積	73,630 m ²	確認者	(株)フジター級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
太陽光や節水機器の採用により省資源化や地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和につと得る計画とした。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
	階高を高くすることで、空間のゆとりを確保した。
Q3 室外環境(敷地内)	
	建物配置を道路境界から十分な距離を設け周辺環境に圧迫感を与えないよう配慮。建築物の色彩は、周辺景観に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
BEIm=0.47。LED照明設備を導入。	節水機器を採用し、水資源保護に努めている。
	LR3 敷地外環境
	駐車・駐輪スペースの確保や管理用車両やトラック待機スペースを設けることで、周辺道路の交通不可抑制に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される